

たけまさ公一 と語る会

6月21日14時～15時30分

埼玉会館2階ラウンジ

『国会閉会-参議院議員選挙
トランプ関税の行方と課題も
含め関税・為替・防衛』



～今回の目次～

- ① 4月～6月の活動報告**
- ② 消費税政策について**
- ③ 外務委員会とトランプ関税**
- ④ 憲法審査会**
- ⑤ 衆議院当選後8ヶ月を振り返り**
- ⑥ 参議院選挙における公約**



01

4月～6月の活動報告

with pictures



憲法審査会





外務委員会と
欧州議会との懇談



～地元～

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会/さいたま商
地下鉄7号線延伸事業化実現 特別講演会



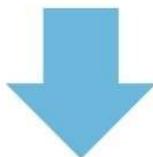


02

消費税政策について 財源についても

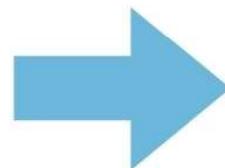
消費税政策について

現状：物価高で苦しむ国民生活



食料品の消費税
0%を実現する

制度設計を行い、
将来的には…



給付付き税額控除へ
移行

- ◆ 食料品の消費税ゼロ%が実行されるまでの間は、物価高に苦しむ皆さんに給付を行います。
- ◆ 将来的には、消費税の逆進性対策として、給付付き税額控除（消費税還付制度）を導入します。（党公式）

消費税減税の税源

1年間の食料品の消費税ゼロ税率を実現するに際して、**約5兆円** かかると算出した。
最大2年間の減税を可能にするための **10兆円** の財源を提示した。（5月16日）

1

7.8兆円

の

今年度当初予算で
ルールを超えて積
みすぎていると
指摘したもの

2

数兆単位

の

外国外為
特別会計の
余剰金活用

3

数兆単位

の

賃上げ促成
税制を含む
租税特別措
置の見直し



03



外務委員会とトランプ関税

03

武正公一、外務委員会での質疑（4月16日）

Q

WTOが機能不全に陥っている中、70カ国の有志国で進めたWTOサービス協定など、有志国によるWTOの改革を日本がリードしていくことについて

A

ルール形成機能の強化は日本が取り組む改革の柱で、有志国間での取り組みは全加盟国によるマルチな交渉を補完するという点で有効だという認識。このような形でルール形成が促進されることに日本が与して、積極的に貢献したい。（岩屋外務大臣）

Q

WTO理事会で米国関税引き上げにどのような発言をしたか、関税引き上げに対して提訴した国はどこか、日本もWTOへの提訴をカードと考えて良いのでは？

A

世界経済や多角的貿易態勢へ影響を及ぼすことを指摘し、関係国を協議しつつ適切な対応をとると発言した。WTOへ紛争解決手続きを申し立てた国は中国とカナダ。米国との間でできた交渉の枠組みの中で粘り強い交渉を行い、事態の打開を目指す。

03

武正公一、外務委員会での質疑（5月9日）

Q

各国ACSAが国会に提出される理由を大平三原則に基づいて答弁を求める

A

ACSAを締結する際に、国内北条の決済手続きに関する規定を維持する必要があるため、大平三原則における法律事項を含む国債役を国該当する。（岩屋外務大臣）

Q

今回の共通事項化でACSAの条約を結んでも法律を提出しなくてよくなるが、大平三原則の「法律事項を伴う条約は国会で承認」と矛盾するのでは？

A

あらかじめ整備された国内法の範囲内で条約が締結される限りは新たな法案の提出は不要であるが、それを超える内容の場合は国会への報告や意見聴取等を行い国会の関与の担保に努める。（本田副大臣）

03

武正公一、外務委員会での質疑（5月9日）

Q

日伊ACSA第一条第一講に存立危機事態を含むか、存立危機事態で物品・役務の相互提供を想定しているか、また、協議をしたか。

A

日伊ACSAが適用される対象には存立危機事態の下での自衛隊とイタリア軍隊との間の物品役務の提供を含む。イタリアの間で存立危機事態における協力について具体的な想定はなされておらず、共同訓練等も想定はしていない。（岩屋外相）また、それらを前提とした協議を行う予定もない。（本田防衛副大臣）

Q

RAAに基づき設置された合同委員会での議事録が非公開となっているが、なぜ公表されないのか、また日本政府として公開の働きかけを行う意思があるのか

A

合同委員会に関する事項は、日豪、日英双方の同意がない限り開示しない旨が決定されている。相手国との忌憚のない協議を確保するためであるが、同意が得られれば、できる限り公表するという姿勢は必要だと考える。（岩屋外相）

03

武正公一、外務委員会での質疑（5月28日）

Q

6月のG7首脳会談において、加盟国はアメリカへの自動車輸出国が多いこともあり、議長国カナダや他の国との連携、自動車交渉の方針についての御所見を。

A

英仏加独伊それぞれの国と電話で首脳会談をしており、経済分野について幅広く議論をしている。このようなG7各国との意思疎通を含めて、何が日本の国益に資するのかあらゆる選択肢を考えて取り組みたい。

Q

日米電話会談にて、報道では「F47戦闘機購入を持ちかけられた」や、「アメリカ半導体数十億ドル購入」といったものがあるが、どのようなやりとりがあったのか。

A

経済安全保障や、外交・安全保障に係る課題についての意見交換、また、石破総理から米国の関税措置に係る日本の立場を改めて伝えたが、詳細については控えさせていただく。

03

武正公一、外務委員会での質疑（5月28日）

Q

パレスチナ難民支援に関して、UNRWA事務局長とはどのようなやり取りがあったか。

A

UNRWAを含む人道支援活動が可能な環境が持続的に確保されることが大事だということと、イスラエル政府への働きかけを含む外交努力を行なっていくという話をした。また、事務局長からはこれまでの支援への謝意、現在のガザ地区の人道状況、UNRWAを巡る状況といった話があった。

Q

イランとアメリカとの核合意協議において、日本としてどのように関与ができるのか、また、日米電話首脳会談位においてイラン、アメリカの交渉等について言及があったか。

A

イランのアラグチ外相とは電話階段にて建設的な対応を求め、我が国としては引き続き米国や関係国と連携をしてイランの核問題の平和的解決のために外交努力を継続する。また、首脳会談における中東の話の詳細は控えるが。



04

憲法審査会

02

5月8日：解散権の制約

発言の要旨

昨年の衆議院解散は参政権の侵害ではないか

昨年の衆議院解散は予算委員会を開かず、解散から工事までの日数も短く、有権者への投票整理券の配布も遅れるなど有権者の参政権が侵害されていた。解散権の制約も含め、解散の説明を国会で行うといった工夫が必要だと考える。

明文化が必要と思われる項目（臨時国会の招集期限など）は憲法改正の条文案、明文化したものを案として憲法審査会に提示し、内容を議論すべきではないか？（維新青柳委員の質問）

武正の回答：

臨時国会招集期限を明記する改憲は検討の余地がある。首相の解散権の制約は憲法に書くか、法律案にするか議論を深めたい。

02

6月5日：憲法と現実の乖離

発言の要旨

憲法第7章財政が蔑ろにされているのではないか

憲法八十三条「国の財政処理の権限は、国会議決に基づく」とあるが、予備費は事後承認。コロナ禍で拡大したホビ日は平時の状態に戻すべき。補正予算は憲法に規定はない意が常態化している。また、財政規律に関しては債務比率が250%を超える。今後、予算審議に供する組織や国会に長期財政予測機関の設営について議論すべきだ。

首相の解散権

昨年の選挙で投票整理券の到着が全国で遅れたことは有権者の参政権の侵害と言える。イギリスのキャメロン元首相は議会任期制限法を導入したがこのような解散権の制約を検証する余地がある。

03

6月13日：今国会の振り返りと今後の進め方

発言の要旨

振り返りの部分

国民投票法について繰延投票の実施やインターネット投票や共通投票所の設置等の検討。選挙困難事態の定義づけ、そしてそれの立法事実はないという指摘。また、臨時会招集の期限と解散権の制約を法や憲法改正の観点から議論すべき。

今後の進め方について

国民投票法案の附則四条の検討条項（ネット広告制限、資金制限等）について放送広告規制やフェイク対策の観点から党内の議論を深める。議員任期延長案をもって憲法改正条文起草委員会設置の提案があるが立憲等は立法事実がないとするため設置はあり得ない。憲法改正の議論は両院足並みを揃え、幅広い政党の賛同が得られるテーマについて議論を進めることを提案する。



05

今国会成立の
重要法案

衆議院当選後8ヶ月を振り返り

- 1 予算修正（補正予算1000億、予算再修正150億）
- 2 能動的サイバー防御法案（立憲も賛成）
- 3 年金制度改革法案（立憲の修正案が可決）
- 4 所得税法改正案（103万円の壁）
- 5 立憲、食料品消費税0%（財源も含め）政策決定
- 6 衆議院憲法審査会落ち着いた議論が進行
- 7 電波オークション法案成立



06

参議院選挙の公約

～参議院選挙の公約8本柱～

3つの重点政策

- ・物価高・賃上げ・経済政策
- ・就職氷河期・現役世代支援
- ・地方・農林水産業対策
- ・社会保障
- ・子育て・教育
- ・ジェンダー平等・共生社会
- ・外交・防衛・経済安全保障
- ・政治改革・行財政改革

Information

～第9回女性の会～

6月30日月曜日

14:00～16:00

@ロイヤルパインズホテル浦和

ゲスト：葉月よしこ

～親子国会见学会～

8月5日 火曜日 11:00～14:00

@衆議院議員会館

